

真夏の美白をぬりかえろ※1。
激しい日差しの夏。「メラニン衝動※2」に、先手※3を。
日中も、美白※4・美肌ケアをとめない。
肌の先を見た、多機能※5な日中用美白クリーム

『ホワイトショット セラムUV』誕生

株式会社 ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀）は、「ホワイトショット」ブランドより、美白美容液発想でつくった日中用美白クリーム・日ヤケ止め『ホワイトショット セラムUV』（販売名：ポーラ WSセラムUV、45g ¥7,150 <税抜 ¥6,500>）を2025年3月1日に発売します。

創業当時から美白を研究し続けるポーラは、かつてないほどの猛暑日が続く、さらに年々長期化している、過酷な夏の環境に着目。美白ケアを頑張りたいのに、紫外線から守ることだけに徹してしまいがちな夏でも、美白・美肌ケアをとめないために。肌の先を見た、多機能な日中用美白クリームが誕生します。

◆『ホワイトショット セラムUV』の主な特長

- ①強い紫外線のもとでも、美白・美肌ケアをする多機能設計。
ポーラ最高水準のUVカット※6、近赤外線・ブルーライト・マイクロダスト※7カット成分配合で肌を守るマルチカット設計。美白有効成分「トラネキサム酸」・肌アレを防ぐ有効成分「グリチルリチン酸2K」を配合や、ホワイトショット美容液※8との共通保湿成分を含むポーラオリジナル成分6種※9配合で、日中も肌をケア。
- ②日差しの熱にさらされる肌をケアし、乾燥などのダメージから守るポーラオリジナル膜技術「熱センサーモイスト膜技術」を採用。
- ③汗のイオンによって粉体が凝集し、膜が強化される技術が進化した、「汗センサーバリア膜技術」を採用。
- ④表情の動きによる膜の亀裂が生じにくい「伸縮性フィット膜技術」を採用。
- ⑤クレンジング不要で洗顔料だけで落とせる※10処方設計に加え、ファンデーションのもちを良くする下地機能、さらにファンデーションの上から重ね塗りできる化粧上地の機能もプラス。
- ⑥3段階で感触が変化することで、美容液仕立ての心地よさを実現。閉塞感・きしみ感のない軽やかな感触。



全国のポーラ ビューティーディレクター、コスメ&エステショップ「ポーラ ザ ビューティー」約470店舗・旗艦店「ポーラ ギンザ」・全国有名百貨店等ポーラコーナー83店舗を含む約2,700店、日本国内空港免税店コーナー11店舗、ポーラ公式オンラインストア（<https://www.pola.co.jp/ec/>）にてお取り扱いします。（2023年12月末時点）海外では、中国大陸・香港・台湾・マカオ・タイランド・シンガポール・韓国・マレーシア・インドネシアの9の国と地域にて順次発売予定です。

2025年3月1日発売

ホワイトショット セラムUV

販売名：ポーラ WSセラムUV

【医薬部外品】（日中用クリーム・日ヤケ止め）

美白有効成分：トラネキサム酸

肌アレを防ぐ有効成分：グリチルリチン酸2K

45g ¥7,150（税抜 ¥6,500）

◆無香料・無着色

◆アレルギーテスト済み（全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません）

※1：美白ブランドにおける世界観をポーラから変えたいという姿勢のこと ※2：メラニン生成
※3・4：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※5：日中用クリーム・日ヤケ止め・化粧下地・化粧上地
※6：SPF50+・PA++++
※7：ポーラが名付けた名称。排気ガス・工場の煙・チリホコリ等のPM2.5、黄砂、タバコの煙、花粉等。
※8：ポーラ WSフェイシャルセラム（医薬部外品）・WSエッセンスSXS（医薬部外品） ※9：3種の保湿成分と3種の複合保湿成分
※10：メーク品を重ねた場合はクレンジングをご使用ください

White shot

真夏の美白を、ぬりかえろ。 激しい日差しの中。「メラニン衝動」に、先手を。

※メラニン衝動：メラニン生成 ※先手：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ

私たちは、生きている。
人類が経験したことのない夏を。
紫外線量が上昇する。肌への不安も高まる。
UVケアは、もはや日常になった。
激しく変わりつづける夏へ。

真夏の美白を、ぬりかえろ。
ホワイトショット セラムUV、誕生。

いま、夏の肌に新発見。
紫外線量だけが、問題ではない。
夏、体内のナトリウムイオンの濃度の低下によって、
メラノサイトが反応しやすくなる。

激しい日差しが降り注ぐと
メラニンは生成したい、という衝動にかられる。
まぶしいと感じた瞬間に、肌は分かれ道にいる。

「メラニン衝動」に、先手を。
さあ、もういちど。美白に、衝撃を。

ホワイトショット セラムUV

販売名:ポーラ WSセラムUV【医薬部外品】

POLA

White shot

真夏の美白をぬりかえろ^{*1}。
激しい日差しの夏。「メラニン衝動^{*2}」に、先手^{*3}を。

日中も、美白^{*4}・美肌ケアをとめない。
肌の先を見た、多機能^{*5}な日中用美白クリーム

『ホワイトショット セラムUV』誕生

創業当時から美白を研究し続けるポーラは、
かつてないほどの猛暑日が続き、さらに年々長期化している、過酷な夏の環境に着目。
美白ケアを頑張りたいのに、紫外線から守ることだけに徹してしまいがちな夏でも、
美白・美肌ケアをとめないために。
美白美容液発想でつくった、日中用美白クリーム・日ヤケ止め
『ホワイトショット セラムUV』が誕生。

ポーラ最高水準のUVカット^{*6}・近赤外線・ブルーライト・マイクロダスト^{*7}カット成分配合で肌を守り、
トラネキサム酸・グリチルリチン酸2Kの2種の有効成分や、
ホワイトショット美容液^{*8}との共通保湿成分を含むポーラオリジナル成分6種^{*9}配合で、日中も肌をケア。

クレンジング不要で洗顔料だけで落とせる^{*10}処方設計に加え、
ファンデーションのもちを良くする下地機能、
さらにファンデーションの上から重ね塗りできる化粧上地の機能もプラス。

自然なトーンアップ効果^{*11}で、ツヤと透明感^{*11}のある仕上がり。
3段階で感触が変化することで、美容液仕立ての心地よさを実現し、
閉塞感・さしめ感のない軽やかな感触で、やわらかくなめらかな肌を目指します。

2025年3月1日発売

ホワイトショット セラムUV

販売名:ポーラ WSセラムUV

【医薬部外品】(日中用クリーム・日ヤケ止め)

美白有効成分:トラネキサム酸

肌アレを防ぐ有効成分:グリチルリチン酸2K

SPF50+・PA++++

45g ¥7,150(税抜¥6,500)

◆無香料・無着色

◆アレルギーテスト済み(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)

デザイン 想定外の着眼の先にある、発見・発明の驚きをホワイトショットブランドの「エウレカ!」ピンクで表現。容器に収まりきらないくらいに大胆に配置されたロゴは、枠にはまらず常識にとられない姿勢を表す。外箱には虹の7色を印象的にデザイン。



※1:美白ブランドにおける世界観をポーラから変えたいという姿勢のこと ※2:メラニン生成 ※3・4:メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ

※5:日中用クリーム・日ヤケ止め・化粧下地・化粧上地 ※6:SPF50+・PA++++

※7:ポーラが名付けた名称。排気ガス・工場の煙・チリホコリ等のPM2.5、黄砂、タバコの煙、花粉等。

※8:ポーラ WSフェイシャルセラム(医薬部外品)・WSエッセンスSXS(医薬部外品) ※9:3種の保湿成分と3種の複合保湿成分 ※10:メーク品を重ねた場合はクレンジングをご使用ください

※11:メーク効果による

POLA

White shot

[製品特長]

強い紫外線のもとでも、美白^{※1}・美肌ケアをする多機能^{※2}設計。
ポーラ最高水準のUVカット^{※3}で肌を守り、2種の有効成分^{※4}や、ホワイトショット美容液^{※5}との
共通保湿成分を含むポーラオリジナル成分6種^{※6}配合で、日中も肌をケア。

主な成分

- ◆メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ：美白有効成分「トラネキサム酸」を配合。
- ◆肌アレを防ぐ：有効成分「グリチルリチン酸2K」を配合。
- ◆ **NEW** ポーラオリジナル複合保湿成分「デュアルデイリキッド^{※7}」を配合。
- ◆ポーラオリジナル複合保湿成分「SSリキッド」「m-Aクリアエキス」を配合。
- ◆ポーラオリジナル保湿成分「エンメイソウエキス」「SCRリキッド」「クジンエキスクリア」を配合。

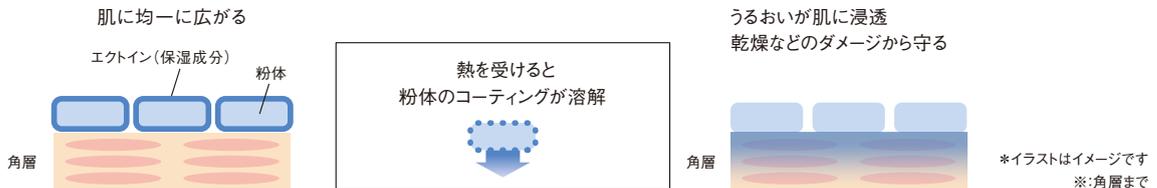
※1：メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2：日中用クリーム・日ヤケ止め・化粧下地・化粧上地 ※3：SPF50+・PA++++
※4：美白有効成分トラネキサム酸、肌アレを防ぐ有効成分グリチルリチン酸2K ※5：ポーラ WSフェイシャルセラム・WSエッセンスSXS (医薬部外品)
※6：3種の保湿成分と3種の複合保湿成分 ※7：チョウジエキスとノバラエキスの複合成分

処方

日差しの熱にさらされる肌をケアし、乾燥などのダメージから守る膜技術



保湿成分エクトインで粉体をコーティングする、ポーラオリジナル技術「**熱センサーモイスト膜技術**」を採用。
熱を受けると粉体のコーティングが溶け、うるおいが肌に浸透*。
日差しの熱にさらされる肌をケアし、乾燥などのダメージから守る膜技術です。



処方

汗によって膜が強化される技術がさらに進化



汗のイオンによって粉体が凝集し、膜が強化される技術が進化した、「**汗センサーバリア膜技術**」を採用。
新たに汗を抱え込むオイルを配合。汗によってペールの肌との密着性が高まり、汗をかいても膜浮きしにくくなりました。



人工皮革に、WS セラムUVとWS セラムUVに人工汗液を
混ぜたサンプルを同量塗布。
その後、摩擦感テスターにて平均摩擦係数を測定。
(ポーラ化成工業 研究所調べ)

POLA

White shot

[製品特長]

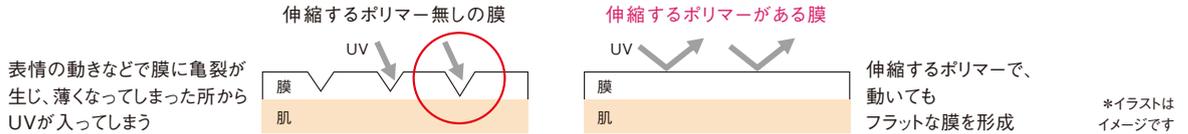
処方 表情の動きによる膜の亀裂が生じにくい設計



膜に亀裂・隙間ができるとそこから日ヤケしてしまうことに着目した「伸縮性フィット膜技術」を採用。

伸縮するポリマーが、顔の動きに合わせてしなやかに伸縮し、肌にフィット。

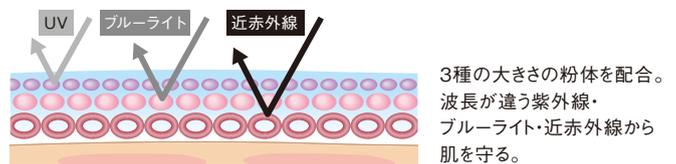
笑ったり話したりする際の、表情の動きによる膜の亀裂が生じにくく、隙間からUVが肌に当たりにくい膜設計です。



処方 マルチカット設計



ポーラ最高水準紫外線カットSPF50+・PA++++、近赤外線・ブルーライト・マイクロダスト*カット成分配合の、肌を守るマルチカット設計。



*:ポーラが名付けた名称。排気ガス・工場の煙・チリホコリ等のPM2.5、黄砂、タバコの煙、花粉等。
*イラストはイメージです

効能・目指す肌 長期化・過酷化する夏環境でも、美白*・美肌ケア



美白有効成分「トラネキサム酸」がメラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。



有効成分「グリチルリチン酸2K」が肌アレを防ぐ。紫外線やエアコンの乾燥ダメージが気になる季節にも、すこやかな美肌を目指す。



日ヤケを防ぎ、紫外線によるダメージをケアし、日ヤケ・雪ヤケ後のほてりを防ぐ。



ニキビや乾燥を防ぐ。



紫外線や近赤外線、ブルーライトを含む太陽光によって起こり得る乾燥ダメージをケア。使うたびにうるおいを与え、肌の乾燥を防ぐ。

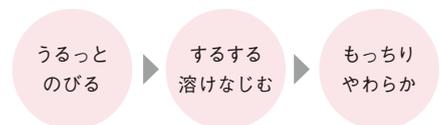
*美白・シミ予防:メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ。

感触 3段階で感触が変化することで、美容液仕立ての心地よさを実現

ポーラ最高水準のUVカット機能*がありながら、美容液仕立ての心地よさ。

「うるっと」肌のにびて、「するする」な浸透感の後、「もっちり」やわらかでツヤやかな、後肌感触。

閉塞感・さしみ感のない軽やかな感触で、やわらかくなめらかな肌を。



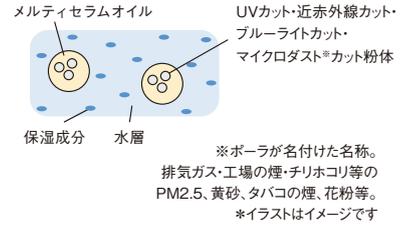
*SPF50+・PA++++

POLA

White shot

[製品特長]

「マルチセラムオイル」の配合により、日ヤケ止めであることを忘れてしまうような上質な使い心地に。3種の油剤をバランスよくブレンドしたオイルで、UVカット粉体などの粉っぽさをカモフラージュしています。スキンケアのように肌に溶け込むような浸透感がありながら、守られているような保護感もある、毎朝、思わず使いたくなるようなテクスチャーが完成。



使用方法

スキンケアで肌を整えた後、適量(大きめの真珠1粒位)を手にとり、顔の中心から外側に向かってのばしてください。デコルテ使用の際は、適量(大きめの真珠1粒位)を手にとり、首から胸もとに向かってのばしてください。メイクをしない日は、洗顔料だけでオフが可能です。

使用前

使用后



〈仕上がりイメージ〉

自然なトーンアップ*1効果で、気になるシミや色ムラをナチュラルに補正。ツヤと透明感*1のある仕上がり。

化粧水と乳液で肌を整えた後、ホワイトショット セラムUVを塗布し、撮影。写真は代表例。(ポーラ調べ)

NEW 化粧下地機能

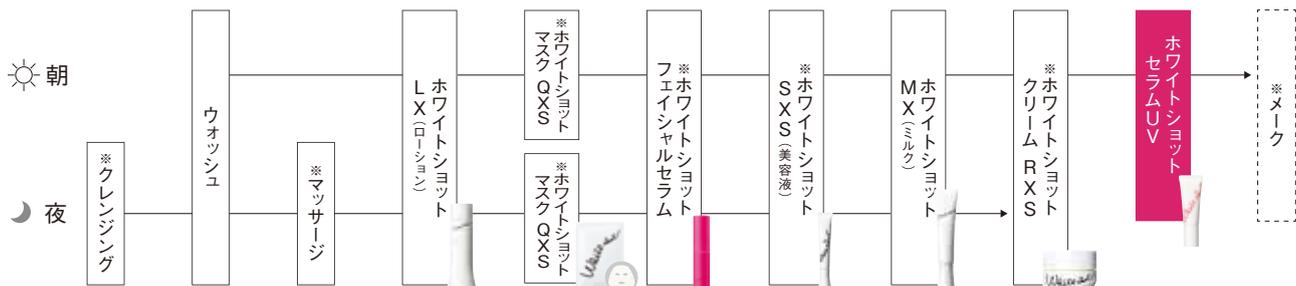
忙しい時、スキンケアやメイクをシンプルに済ませたい方へ。日中用のクリームとしても、ファンデーションのもちをよくする化粧下地としてもご使用いただけます。

NEW 化粧上地機能

日中、たくさん汗をかいたり、汗を何度も拭いたりすると、日ヤケ止めが取れていないか不安になる時も。ホワイトショット セラムUVは、ファンデーションの上から重ね塗りできる化粧上地の機能をプラス。薄く均一に伸び広がる感触で、メイクの仕上がりを損なわないだけでなく、メイク直後のみずみずしい仕上がりが復活*2します。メイクの上から重ね塗りすることで、ツヤやうるおいのベールをプラス。メイク直し前のひと塗りとしてもおすすめ。

※1:メイク効果による ※2:メイク直しによる

お手入れステップ



※肌の悩み・状態に合わせてお使いください。クレンジングは、メイク品使用時は必ずお使いください。
 ◆セラムUVはメイク品を重ねて使用しない場合は、普段ご使用の洗顔料のみで落とすことが可能です。
 ◆マスク QXSは、朝または夜のどちらかにお使いください。

POLA

White shot

[製品特長]

社会・地球環境への取り組み

容器



バイオマスPEを採用

バイオマス*PEを一部に採用することで、化石資源の保護や二酸化炭素の削減に貢献。

商品外箱



森林認証紙を採用

適切な森林管理のもとで作られた木材を使用した、森林認証紙を採用。

パンフレット



WEBパンフレットを採用

ペーパーレスへの取り組みとして、紙のパンフレットを廃止し、箱に記載されたQRコードを読み込むことで使用方法、全成分表示、使用方法動画が閲覧可能なWEBパンフレットを採用。

- ◆ 使用方法・使用量などは外箱にも記載があります。
- ◆ 5言語対応(日本語・英語・繁体字・简体字・タイ語)

生物由来のインクを採用

生物由来の資源(バイオマス)から成分を抽出して製造したインクを一部使用し、箱への印字を行うことで、生態系の保護に繋げる。

※植物由来の有機資源(化石資源を除く)

主な配合成分

配合目的	配合成分	全成分表示名称
美白*1有効成分	トラネキサム酸	トラネキサム酸
肌アレを防ぐ有効成分	グリチルリチン酸2K	グリチルリチン酸2K
保湿成分	デュアルデirikid*2	チョウジエキス、ノバラエキス
	m-Aクリアエキス*2	海藻エキス-1、ローズマリーエキス
	エンメイソウエキス*2	ヒキオコシエキス-1
	クジンエクスクリア*2	クララエキス-1
	マジョラムエキス	マヨラナエキス
	SSリキッド*2	オトギリソウエキス・シャクヤクエキス
	SCリキッド*2	ビワ葉エキス
	サンザシエキス	サンザシエキス
メイク効果	メルティセラムオイル	ベヘニルアルコール、ワセリン、トリエチルヘキサン酸グリセリル
近赤外線・ブルーライトカット成分	酸化チタン	酸化チタン
マイクロダストカット成分	ソルビトール	ソルビット液

※1:メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ ※2:ポーラオリジナル複合保湿成分またはポーラオリジナル保湿成分
◆無香料・無着色 ◆アレルギーテスト済み(全ての方にアレルギーが起きないというわけではありません)



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。

POLA

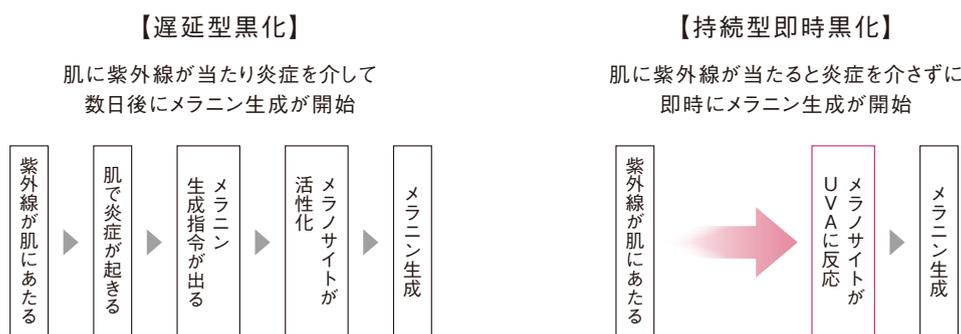
[別添 / ポーラの研究]

ポーラは、お客さまのお悩みの声から、年々過酷化・長期化している夏の肌をとりまく環境や強い紫外線下でも、前向きに過ごしていただきたいという思いで、夏特有のメラノサイトの研究を進めました。

新着目

日差しを浴びてすぐに始まる、炎症を介さない日ヤケルート『持続型即時黒化』

ポーラは、日差しを浴びてすぐに始まる、炎症を介さない日ヤケルート、「持続型即時黒化」に着目しました。



日ヤケ(黒化)ルートの中で、残り続ける黒化が2種類あります。

まずは、肌に紫外線が当たった後、炎症が消失する3~10日目に認められる黒化の【遅延型黒化】です。これは紫外線の刺激により、メラニン生成指令が出て、メラノサイトが活性化されることで起こる、比較的遅いメラニン生成ルートです。

もう1つは、肌に紫外線が当たった後、数時間~1日たって残り続ける黒化の【持続型即時黒化】です。炎症を介さず、メラノサイトが直接紫外線に反応した直後から始まる、比較的速いメラニン生成ルートです。

【持続型即時黒化】=スピード型日ヤケ

持続型即時黒化は、肌に紫外線、その中でもUVAが当たって、即時にメラニン生成が開始されるため、ポーラはこれを、「スピード型日ヤケ」と名づけました。

夏は特にいつのまにか日ヤケをしやすと感じるのは、このスピード型日ヤケが一因だと考えられます。

着目

「スピード型日ヤケ」におけるメラニン生成のスイッチ『UVA反応体』

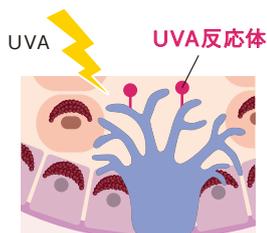
ポーラが着目したのは、スピード型日ヤケのメラニン生成のスイッチ、UVA反応体です。

スピード型日ヤケにおけるメラノサイトのメラニン生成のスイッチは、メラノサイト上にあるTRPA1です。

メラノサイトがUVAに反応し、TRPA1に伝わるとカルシウムイオンが細胞の外から中に入ります。

その後、これが引き金となって下流の反応が進み、メラニン生成が促進されます。

ポーラでは、TRPA1をUVA反応体と名づけました。



UVA反応体 UVAに反応して、メラニンをつくる時のスイッチとなるタンパク質

- ◆ UVA反応体=TRPA1 (Transient receptor potential ankyrin 1) のこと。メラノサイトが、UVAに反応しメラニンを生成する過程で働くカルシウムチャネル。

*イラストはイメージです

[別添 / ポーラの研究]

これまでの研究では、UVA反応体が増加するとメラニン生成が増加することはわかっていましたが、UVA反応体を増加させる原因はわかっていませんでした。
ポーラでは、UVA反応体を増加させる夏特有の原因があるのではないかと考え研究を進めた結果、一因を突き止めました。

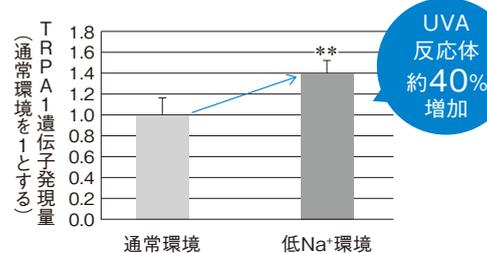
新発見

夏特有の低ナトリウムイオン状態で、UVA反応体が増加 スピード型日ヤケが過剰に

夏はミネラルを多く含む汗をかき、体内が低ナトリウムイオン状態になると考えられます。
この夏特有の低ナトリウムイオン状態が、UVA反応体を過剰に増やし、
その結果、UVAによるメラニン生成が過剰に進んでしまうことを発見しました。

新発見 低ナトリウムイオン環境下で、UVA反応体が約40%増加

右のグラフは、通常環境でのメラノサイトと、
低ナトリウムイオン環境でのメラノサイトの、
UVA反応体の量を示したグラフです。
通常環境に比べ、低ナトリウムイオン環境下では、
UVA反応体が、約40%増加していることを
新たに見出しました。



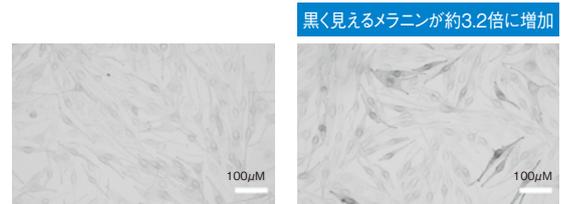
各Na⁺濃度 (通常環境150mM, 低Na⁺環境:130mM) で培養したメラノサイトの TRPA1 遺伝子発現量を解析。(n=4, 平均値+標準偏差, **P<0.01, t検定)

培地中Na⁺濃度のメラノサイトのTRPA1発現量への影響

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

低ナトリウムイオン環境下のメラニン生成量

右の画像は、通常環境と低ナトリウムイオン環境下での
メラノサイトに、UVAを照射して生成される、メラニン量を
観察した結果です。同じUVA量を照射しているにもかかわらず、
低ナトリウムイオン環境下では、メラニン量が約3.2倍に
増加しました。



各Na⁺濃度で培養したメラノサイトにUVA照射し8時間後に観察。画像処理を行い、
1細胞あたりの黒い領域をメラニン量として比較した(n=3, p<0.05, Welch t検定)。
◆画像・数値は代表例。UVA照射量はつくば市で真夏正午1時間程度日光に当たった状態と同等量。

(ポーラ化成工業 研究所調べ)

夏に起こる低ナトリウムイオン状態によってメラノサイトのUVA反応体が増加することが、
メラノサイトが過剰にメラニンを生成してしまう一因。
このことが、夏に日傘などUVカット対策をしても、日ヤケしやすいという実感につながっていると考えられます。